

# 衛星通信の変遷

Chronicle of satellite communication

年	サービスの概況	年	サービスの概況
1983	国内衛星通信運用開始 (SK-01T/SC-01T方式車載局) 小笠原自動即時化がSC-20方式により完成 SK-10方式によるRC局中継の運用開始	1993	離島統合衛星通信方式 (DYANET (C))
1984	衛星デジタル通信サービス (マルチアクセス閉域網) 運用開始	1994	ETS-VI 打上げ
1985	離島小容量方式SC-30 が硫黄島で運用開始	1995	N-STARa 打上げ マルチビーム衛星通信方式 公衆網統合衛星通信方式 (DYANET-X)
1986	国の技術試験衛星VI型 (ETS-VI) 計画への参加決定	1996	N-STAR 打上げ N-STAR 衛星デジタル映像通信方式 デジタル衛星通信車載局 同報インタラクティブ衛星通信方式
1988	CS-3 打上げ 衛星中継方式DYANETの運用開始		Ku帯超小型衛星通信方式 衛星移動通信方式 (ワイドスター) 衛星移動パケット通信方式 (ワイドスターパケット通信)
1989	わが国最初の民間通信衛星JCSAT 打上げ	2000	
1992	ISDN中継系 加入者系統合衛星通信方式 (DYANET II)	2002	N-STARc 打上げ
		2006	N-STARd 打ち上げ
		2010	高速化対応衛星移動通信方式 (ワイドスター II)
		2018	高効率衛星通信システム
		2023	高速化対応衛星移動通信方式 (ワイドスター III)